

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あおば

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 11 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	日常的な外出の支援	職員の人事異動や入居者の重度化等により、外出の機会が減っている。本部や社内他事業所、ボランティアからの応援体制の協力を仰ぎ、外出レク等の企画を増やす。	社内(本部、他事業所)、社外(ボランティア、家族等)の協力を得て、利用者の行きたい所などを聴き取り、外出レクを企画・実現する。又、職員の勤務体制を考慮し、気分転換を兼ねて散歩や買物等、日常的な外出の支援に取り組む。	12ヶ月
2	47	入浴を楽しむことができる支援	元相撲部屋だったことから、使用していない大きな浴槽が中央に位置している。入居者の重度化により、半機械浴槽を使用しているが、浴室内が整理整頓されていない為、入居者が、入浴を楽しむことができるよう環境づくりを行う。	環境整備委員会を中心に、浴室内の整理整頓を行い、皆で知恵をしばって、安全、安楽、快適な入浴サービスを提供できる様に協議し、楽しみにつなげる支援を目標にした環境づくりを行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。